

【文化の日】十一月三日

十一月三日は、昭和二十年八月の終戦



までは「明治節」（明治天皇御誕生日）でした。近代日本を創られた明治天皇の治績を偲び、日本の伝統・文化を受け継ぐ心を奮い立たせる日として、この日を文化の日（昭和二十三年七月二十日制定）としました。明治天皇は、常に世界の平和と国家の興隆、国民の幸福と繁栄を祈られ、実に九万一千余首もの和歌を作られています。人の心の誠は神の心に通ずる、誠の心はさながらに神の御心であると歌に詠まれています。

目に見えぬ神にむかひて恥じざるは

人の心のまことなりけり

明治天皇は、急激な西洋化を憂い、悠久の歴史の中で日本人が大切にしてきたものを「教育勅語」に表され、十二の徳目を示されました。

- 一、孝行…：子は親に孝養を尽くしましょう
- 二、友愛…：兄弟、姉妹は仲良くしましょう。
- 三、夫婦の和…：夫婦はいつも仲むつまじくしましょう
- 四、朋友の信…：友達はお互いに信じ合っつき合ひましょう
- 五、謙遜…：自分の言動をつつしみましょう
- 六、博愛…：広く全ての人に愛の手をさしのべましょう
- 七、修学習業…：勉学にはげみ職業を身につけましょう

八、智能啓発…：智徳を養い才能を伸ばしましょう

九、徳器成就…：人格の向上につとめましょう

十、公益政務…：広く世の人々や社会の為になる仕事にはげみましょう

十一、遵法…：法律や規則を守り社会の秩序に従いましょう

十二、義勇…：正しい勇気をもってお国の為に真心をつしまししょう

これらの徳目は、早くから諸外国にも高く評価されてきました。アメリカの The Book of Virtues 「道徳読本」の十の徳目の内九は教育勅語と一致しています。ドイツは戦後いち早く復興しましたが、その復興の原動力は日本の教育勅語の精神のお陰であるとアデナウアー首相が言っています。

【新嘗祭】十一月二十三日（勤労感謝の日）

新嘗祭は、その年にとれた新穀を天神地祇に供えて、農作物の収穫に感謝するお祭りです。全国神社で行われます。「新嘗」とは、その年に収穫された新しい穀物を初めて食することをいいます。新嘗祭は、宮中祭祀の中で最も大切なお祭りです。

小さな種にも不思議な力があります

秋から冬にかけて、りんごやみかんといった果物がおいしくなりますね。りんごを半分に切って、中心の部分を子供さんとじっくり見たことがありますか。毎日育てをされていると、なかなかこんな時間がありませんね。でも、いつも食べている、りんご、なし、みかん、ぶどう、柿の種がどんな形にな

っているか、絵に描けますか？なかなか描けませんね。これが、野菜の種となると、ほとんど私達の生活からはほど遠い物です。



トウモロコシ、グリーンピース、大豆、そら豆等、種を食べていても、乾燥して種となると：ラリツシユ、サニーレタス、ほうれん草、しゅんぎく、人参、きゅうり、玉ねぎ、ゴボウ、カボチャの種は、どんなのでしょうか？解りますか？野菜を作っている私でもほとんど、イエイエ全然、見分けのつかない種があります。菜の花、キャベツ、白菜、チンゲン菜、水菜、かぶ、これらはアブラナ科の種ですが、大きさも色もほとんど同じです。

寺子屋に参加されたお母様方に種と種の袋を別々にして、どれがどれかな？と見ていただきましたが、「解らない！」の連発の声でした。

これらの種、今、日本国中で、私達が入手できる種のひとつだが、外国で作られているのです。イタリア、アメリカ、ニュージーランド、トルコ、中国、アルゼンチン、タイ、驚きますね。一度、袋の裏側を見て下さい。

小さな小さな一粒の種にも芽を出し、葉を出し、成長し、花を咲かせ…次の代へと繋いでいく不思議な力をどの種ももっていること、そして、私もあなたも、皆、この不思議な力を持っていることへの、驚きと感動が自ずと湧いてきますね。

野菜や果物を切ったら、どんなになっているか台所をしながら楽しんでみて下さい。知らないことがいっぱいありますよ。今しかできない子供たちとの時間を大切にして下さいね。（門脇淑恵）

十月 和歌コーナー

えんそくで おやつこうかん たのしいな

またいきたいな どんぐりひろい

年中 H・H

☆遠足でどんぐり拾い行き、友達とおやつのかんをしたのですね。笑顔が目には浮かんできます。

おつきさま うさぎがみえた そらのうえ

おもちつきを しているみたい

年中 K・S

☆月の中におもちつきをしているうさぎのかげが見えたのね。とつてもきれいなお月様でしたね。

いもほりで 虫がいっぱい こわかった

いっぱいほれたよ たのしかった

小学二年 O・R

☆土の中から虫が出てきたのね。おいもがたくさんとれて、よかったですね。

くりのいが さわってみたら ちくちくして

いがの中に みが三つ

かきがりに みんなでいった たのしいな

たくさんとれた またいきたいな

小学二年 H・A

☆いがの中に栗の実が三つもはいつているのを見ただのすね。



勝川で学校行って 授業中

地震がおきた 少しゆれたよ

小学五年 T・I

☆このごろは、地震が多いですね。日頃からあわてず行動する心構えが大事です。

夜の空 十五夜の月 きれいだな

うさぎのもちつき 月面うつる

中学一年 T・A

☆秋の夜の月は、空気が澄んでいて、とてもきれいに見えますね。



和歌ノートにメモしよう

「もみじ」「どんぐり」「落ち葉」「赤い実」「青い実」「青い空」「白い雲」など身の回りの物や事をよく観察して、感じた事や思ったことを『和歌ノート』に、メモしておきましょう。絵をスケッチするみたいに、思いついた言葉をそのまま書きとめましょう。その言葉を用いる工夫して並べると和歌ができますよ。

今月の論語

子曰く

「君子は

人の美を成し、

人の悪を成さず。

小人は是に反す。」

(現代語訳)

孔子先生がおっしゃった。

「君子はある人にすぐれた点があれば、それをさらに進めて成功するように導き、ある人に欠点があれば、その欠点が大きくなるように導く。小人はその君子と全く反対のことばかり行う。」

(解説)

君子は、人のよい所をほめてあげます。人はほめられると嬉しくなって、もつとよくなりますね。でも悪い所は叱らないで、優しくそつと直してあげます。小人は、これと反対のことをしてしまいます。

「親子で楽しむこども論語塾」(明治書院)より

次回は 十二月十七日(土)です。(文責・藤波)